

ピュア☆アニマルさまへ



フサオマキザルの「アイちゃん」を家族に迎え入れてから、私たちの生活は一変しました。今、アイちゃんは家族全員にとってかけがえのない存在となり、たくさんの幸せと笑顔を与えてくれています。日々の食事も旺盛で、すくすくと元気に成長している姿を見るたびに、心から「迎えてよかったです」と感じています。

このレビューでは、私たち家族がアイちゃんを迎えるまでに抱えていた不安、実際に飼育を始めてから直面した大変なこと、そしてそれらを乗り越えた先に得られた心の豊かさや生活の変化について、率直にお話したいと思います。フサオマキザルという特殊なペットを家族に迎えようと考えている方にとって、少しでも現実的な情報と、喜びの一端をお伝えできれば幸いです。第一章：お迎え前の大きな不安と葛藤

アイちゃんを家族に迎えたいという思いが固まるまでには、長い葛藤がありました。何よりも、**「初めて猿を飼う」**という点において、知識の不足が最大の不安要素でした。

専門的な世話の仕方、フサオマキザルに適した栄養バランスの取れた食べ物、病気の際の対応など、一般的な犬や猫の飼育とは全く異なる知識が必要であることは明らかでした。インターネットや書籍で情報を集めても、実際に自分の手で猿を育てることへの不安は消えません。何か過ちを犯して、アイちゃんの健康を損ねてしまうのではないかという恐怖心は、常に心のどこかにありました。

そして、もう一つの大きな懸念事項が、**「先住犬との関係」**です。

すでに我が家には大切な家族である犬がいます。猿という全く異なる種族の動物を迎え入れることで、縄張り争いや喧嘩が起こり、どちらかの心に傷を負わせてしまうのではないかという不安は計り知れませんでした。犬と猿、お互い

が安全かつ快適に過ごせるよう、どのような準備をすれば良いのか、試行錯誤の連続でした。お迎えの日が近づくにつれて、期待と同じくらい、いや、それ以上に、不安の気持ちが大きくなっていたのを覚えています。

現実の壁、飼育で最も大変だったこと

ワクワクとした気持ちと、少々の緊張とともにアイちゃんを家族に迎え入れ、いよいよ本格的な飼育生活がスタートしました。お迎え前の不安は、知識の収集と準備である程度対処可能でしたが、実際に生活を始めてみて、予想外の「大変さ」に直面しました。

その中でも、最も苦労し、大変だと感じたのは**「おむつ替え」**でした。

フサオマキザルの飼育では、衛生管理と生活環境を清潔に保つために、おむつは欠かせません。しかし、人間の赤ちゃんのおむつ替えとは勝手が全く違います。アイちゃんには尻尾があり、その尻尾を避けつつ、動き回るアイちゃんに適切におむつを装着しなければならないのです。

最初は、おむつ替えのたびに格闘でした。アイちゃんは嫌がって暴れ、私たちも慣れない手つきで時間ばかりかかり、終わる頃には親子共々ぐったりしてしまうほどでした。その度に、「本当に私たちはアイちゃんを幸せにしてあげられるのだろうか」と、自信を失いかけることもありました。

しかし、この困難も、日々の繰り返しの中で乗り越えることができました。毎日欠かさずおむつ替えを行ううちに、アイちゃんの動きの癖を理解し、私たち家族も手際良くおむつを替える技術を身につけていったのです。今では、アイちゃんも私たちも、おむつ替えの時間が日常の一部として受け入れられています。この経験は、**「飼育の困難さも、愛情と根気があれば必ず乗り越えられる」**という、確かな自信を与えてくれました。

迎えてよかったこと、心の豊かさ

困難を乗り越え、アイちゃんとの絆が深まるにつれて、「迎えてよかった」という思いは日増しに強くなっています。アイちゃんが私たちにもたらしてくれたものは、単なる「癒やし」という言葉では表現しきれないほど、深く、大きなものです。

最も大きな変化は、生活全体が豊かになったという点です。

アイちゃんの愛らしい仕草、賢い行動、そして時にはやんちゃな振る舞いは、私たち家族に尽きることのない喜びと笑顔をもたらしてくれます。アイちゃんの存在そのものが、日々の忙しさの中で忘れるがちな、小さな幸せや感動を再認識させてくれるきっかけとなっています。

また、実はアイちゃんを迎える前、私たちはペットロスという深い悲しみを経験していました。もう二度と、他の動物を心から愛せるのだろうかという不安もありましたが、アイちゃんは、その悲しみを乗り越え、再び心を開くための大きなきっかけを与えてくれました。アイちゃんの無邪気な姿は、私たちが前を向き、新しい愛情を注ぐことの大切さを教えてくれたのです。

今、私たちはアイちゃんを「ペット」という枠を超えて、**「人生のパートナー」**として捉えています。共に時間を過ごすこと、アイちゃんの日々の成長を見守ることが、私たち家族にとって最も大切な時間となりました。その存在は、家族の絆をより一層強固にし、毎日の生活に彩りを与えてくれています。

他のペット、そして家族全員との関係

懸念していた先住犬との関係についても、嬉しいことに大きな問題は発生していません。

最初は互いに警戒し、適度な距離感を保っていましたが、時間をかけることで、喧嘩することなく仲良く過ごせるようになりました。お互いのテリトリーを尊重し合い、時折、お互いの様子を伺うような微笑ましい光景も見られます。異なる種族でありながら、同じ家族として共存している姿は、私たち家族にとって大きな喜びです。

家族全員、犬や子供たちも含めて、アイちゃんとの生活を心から楽しんでいます。特に子供たちにとっては、アイちゃんを通して命の大切さや、責任感を学ぶ貴重な機会となっています。

アイちゃんとの今後の展望

フサオマキザルの「アイちゃん」を迎えるという決断は、決して簡単なものではありませんでしたが、私たち家族にとっては最良の選択でした。お迎え前の不安や、おむつ替えの大変さなど、乗り越えるべき壁はありました。アイちゃんが私たちにもたらしてくれた心の豊かさや、日々の喜びは、それに勝るものではありません。

これからも、アイちゃんを大切な「人生のパートナー」として、家族全員（犬、子供を含む）で、末永く幸せに暮らしていきたいと心から願っています。フサオマキザルという特別な動物の飼育を検討されている方には、覚悟と愛情をもって接すれば、それ以上の大きな幸福が待っていることを、このレビューをもって伝えたいと思います。

あいちゃんの飼い主より